

高千穂高校だより

TAKACHIHO HIGH SCHOOL

令和2年度
第40回
高千穂高等学校
宮尾野農場祭
11/14(土) 高千穂高校中庭

※写真撮影のため一時的にマスクを外している生徒もいます。



開会式

受付

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から本校で実施しました。生産流通科の生徒たちが日頃の学習活動の成果を発表しました。多くの地域の方々がご来場くださいました。



ようこそ
宮尾野農場祭

しろやま高千穂校との交流

生産流通科は、しろやま高千穂校との交流実習や共同学習を行っています。



交流学习や共同学習では、生産流通科の皆さんが、いつも優しく丁寧にアドバイスなどをしてくれます。日々、愛情を持って生き物に接しているからだと思います。ある時、しろやま高千穂校の生徒が農場で牛を見た瞬間、「あっ、高千穂牛！」と叫びました。こちらでは、「高千穂牛」という文字をよく目にします。「高千穂牛」Tシャツを着た人も見ました。「宮崎牛」ではなく、「高千穂牛」、地元への誇りを感じます。生産流通科の皆さんには、その「やさしさ」と「地元への誇り」に自信をもってほしいと思います。

宮崎県立延岡しろやま支援学校高千穂校
教頭 木宮 浩二 先生



宮尾野農場祭を終えて

愛情を込めて育てた農産物の販売を行った「農場祭」の大切な思い出がまた一つ増えました。

3年 生産流通科
農業クラブ会長
甲斐 幸助

農場祭では、私たちが育てた農産物の販売を行いました。今年度は、新型コロナの影響により活動を制限される中で、農場祭を実施することが出来たことを嬉しく思います。これからは安全・安心な農畜産物の栽培や飼育を目指して、農業の学習に励んでいきます。



保護者や地域の皆様のご協力により、活気ある農場祭となりました。ご来場ありがとうございました。農業科 農場長 (農場部主任) 上村 潤



今年度の宮尾野農場祭は、開催時間の短縮や食品バザーの自粛など、規模を縮小しての開催となりました。生産流通科の生徒が愛情込めて育てた農産物の販売や経営情報科によるポスター等の製作など、日頃の学習の成果を発表する良い機会となりました。

